
競技要項（大会特別規定）

- 第1項 ベンチは若番が一塁側、ロージンは両チームが用意（感染防止対策）し、ボールボーイは両チーム2名とする。なお、登録選手が14名未満のチームは、各チーム5名以内に限り、補助員として二年生選手を派遣することができる。（ボールボーイ、ノック補助など。但し、補助員のユニフォーム着用は不可とし、ランナーコーチに就くことは認めない）
- 第2項 本大会は、一年生大会専用の球数制限を採用する。（1日：80球、2日：120球）※詳細はガイドライン参照
- 第3項 球場のグラウンドルールは、試合開始前に責任審判員により説明を行う。
- 第4項 本大会は代表決定トーナメント戦を採用する。（代表決定戦の競技詳解については別添参照）
- 第5項 試合は7回時間無制限とし、5回をもって試合成立とする。なお、7回終了時に同点の場合は、最大3イニングの延長戦を行い、それでも決着がつかない場合は、決着がつくまでタイブレイク（ワンアウト満塁）を行う。（抽選決着は一切行わない）
- 第6項 本大会はコールドゲームを採用しない。（但し、棄権の場合は7-0のコールド）
- 第7項 メンバー交換は、10：20にバックネット前にて、監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、審判員4名と本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 第8項 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）シートノックを行う場合は、サイドノックを行うことを禁ずる。
- 第9項 試合前にノックやトスバッティングを行うことを禁止する。但し、外野フィールドにおいては、アップシューズ着用に関し（土でも芝生でも）、アップやキャッチボールを認める。
- 第10項 ブルペンは、バッテリーひと組に限り投球練習を行うことができる。（試合中、ベンチ前などブルペン以外での投球練習等は一切禁止する）
- 第11項 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 第12項 大会中に棄権したチームは不戦敗とし、棄権したチームに負けたチームが繰り上がり出場することは認めない。

その他の注意事項

- 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行うこと。
- 各チームの放送係は、第一試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（四回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 球数記録員は、各チーム2名ずつ選出し、大会本部の指示に沿って配置準備すること。
- 試合成績記録員は、各チーム1名ずつ選出し、予備球を持って記録室に入室のこと。
- 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。
- 本大会は関西連盟が指定するソーシャルディスタンスに定められた規程を遵守すること。

全国大会出場権利 代表決定戦における競技要項の詳細

一年生新人大会の競技要項詳細については、下表のとおり行う。

	代表決定戦
試合成立	5回完了
正式試合	7回
球数制限	あり（一日：80球以内、2日間で120球以内）※4連投禁止
時間制	なし（時間無制限）
コールド	なし（但し、棄権チームは除く）
延長戦	あり（最大9回裏まで）
タイブレイク	あり（ワンアウト満塁：決着がつくまで）
抽選決着	なし（完全決着）
審判	全審：中国支部 専属審判部
禁止事項	ナイターゲーム

上表の詳解については下記のとおり。

代表決定戦の詳解ルール

試合成立ならびに正式試合

- 試合は7イニングまで行い、時間制を採用しません。（時間無制限）
- ※但し、試合の成立は5回となります。（野球規則：競技に関する連盟特別規則（少年部・学童部）による）

コールドゲーム

コールドゲームは採用しません。（但し、大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

延長戦

- 7回を終了し、同点の場合は、最大9回裏まで延長戦を行います。

タイブレイク

- 9回裏までの延長戦を行い、同点の場合は10回表より、勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。

サスペンデットゲーム（特別継続試合）について

降雨及び日没などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

適用するケース

- ・ 試合が成立する前（5回完了する前）に中止になった場合。

特別継続試合のルール

- ① 中止となった元の状態から継続するため、元の試合で交代した選手は出場できない。
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ 投手の球数制限はそのまま生きる（リセットされない）
- ④ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部役員にて決定する。

注1) 試合成立後（5回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。

注2) 試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※但し、タイブレーク中に中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。（タイブレークの再試合は行わない）

注3) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることとはできない。（日没の場合も含む）